

中国琵琶・笛子・シンセサイザー トリオコンサート

■ 主催 臨濟宗 東明寺 ■ 後援 大本山 建長寺
■ 会場 東明寺本堂 ■ 席料 3千円 2009年11月8日(日) 17時開場

邵 容 (シャオ・ロン)



国立北京中央音楽院大学卒、人間国宝級の中国琵琶の大家・劉徳海に師事。1987年国立上海民族楽団に琵琶ソロ奏者として入団。同年、上海芸術祭で優秀芸術賞を受賞。89年、東京芸術大学に留学。90年、劇団四季「マダムバタフライ」公演に参加、脚光を浴びる。世界で唯一現存する1200年前の【五弦琵琶】で演奏(NHK)98年、日本フル交響楽団によるグンドゥ作曲のホラ「マルコ・ポーロ」に加わりとして出演。国際派の中国琵琶の奏者として注目を浴びる。

蓮沼健介 (ハスヌマケンスケ)



東京都出身 作 編曲 鍵盤奏者 幼少より父に作曲、母にピアノの手解きを受ける。18才よりステージのサポートミュージシャンとして活躍を始める。現在は、オカリナ奏者 宗次郎、フォークデュオ・ピレーバンパンのサポートCM音楽制作等で活動中。また2006年頃より、中国伝統音楽の勉強を始めて、現在に至る。

王明君 (オーメイケン)



中国上海生まれ、北京中央音楽学院に入学。1982年、学校改革により中国音楽学院に移行し、卒業と同時に同校の講師に最年少で任命される。1985年来日し、東京芸術大学音楽学部大学院修士課程を修了。中国代表として世界各国で演奏を行い、その演奏は、カラヤン、ゴールウェイなどにも絶賛される。来日後は全国各地で数多くのリサイタルを行い、1999年10月には文化庁主催のリサイタルにおいて、皇太子御夫妻の御前で 新星・日本交響楽団と共演。2003年1月、作曲で民音芸術大賞を受賞。